PressNO.170201

報道関係各位

2017 年 2 月 1 日

株式会社イー・ポスト

標的型メール攻撃対策ソフトウェア

「E-Post Secure Handler」を販売開始

～マルウェア、ランサムウェアを未然に侵入防止～

メールサーバソフト開発・販売会社の株式会社イー・ポスト（本社；東京都新宿区、代表取締役；今西和也 http://www.e-postinc.jp/ TEL：03-5272-5386）は、この度、標的型メール攻撃対策ソフトウェア**「E-Post Secure Handler（イーポストセキュアハンドラ）」（以下本製品）**を 2017 年 2 月 1 日より、販売開始いたしますのでご案内申し上げます。

当社のメールサーバ製品である E-Post Mail Server シリーズは、国産の Windows メールサーバ製品として一般企業だけでなく官公庁や自治体へも数多く導入されています。そのような中ここ数年、公的機関や自治体などへの標的型サイバー攻撃は、大きな社会問題に発展してきています。ネットワークインフラでもあるメールからのサイバー攻撃対策は、まったなしの状況です。現在サイバー攻撃対策には、入口対策、内部対策、出口対策の大きく3つの対策に分けられますが、本製品は、入口対策に位置づけられ、導入により、マルウェア、ラムサムウェアの侵入を未然に防止でき結果として情報漏えいのリスク低減に効果を発揮します。

本製品は、外部から届けられるインバウンドメールのうち、安全なメールのみ通すセキュアなメールゲートウェイ製品で、ホワイトリストとブラックリスト以外のメールは一時保留され、管理者がブラウザやメーラーで判断します。一時保留したメールは 23 個のチェック項目で判定され、不審メールと判断されるポイントをわかりやすくアドバイス表示されるというものです。また管理者の負担を軽減するためにチェックを自動判定することができ、万が一誤検知があった場合でも容易にメールを復活することができます。

既に、当社メールサーバ製品をご導入されている場合は、SMTP なしのオプションとして追加も可能で、別の他社メールサーバ製品を使っている環境ではゲートウェイとしてメールサーバの前段に設置して利用します。

当社では、初年度出荷100本を目標としています。

■製品名

・E-Post Secure Handler／E-Post Secure Handler (x64)

■価格例

E-Post Secure Handler： 24万円(50USER)

63万円(500USER)

84万円（1000USER）

（いずれも税別）

※その他の user ライセンスは、要問合せ。（X64）も価格は同じです。

【概要】

〇外部から届けられるインバウンドメールのうち、安全なメールのみ通すセキュアなメールゲートウェイ製品。

〇ホワイトリストとブラックリスト以外のメールは一時保留され、管理者がブラウザやメーラーで判断。

〇一時保留したメールは 23 個のチェック項目で判定、不審メールと判断されるポイントをわかりやすくアドバイス表示。

〇怪しい添付ファイルや未知のウイルスメールでもアンチウイルスベンダーの最新情報が集積しているウイルストータルサイトでチェック可能。

〇許可されたメールはホワイトリストへ、拒否されたメールはブラックリストへそれぞれのデータテーブルに自動登録。

〇いったん拒否したが後で必要なメールだとわかった場合にもその場で復活が可能。

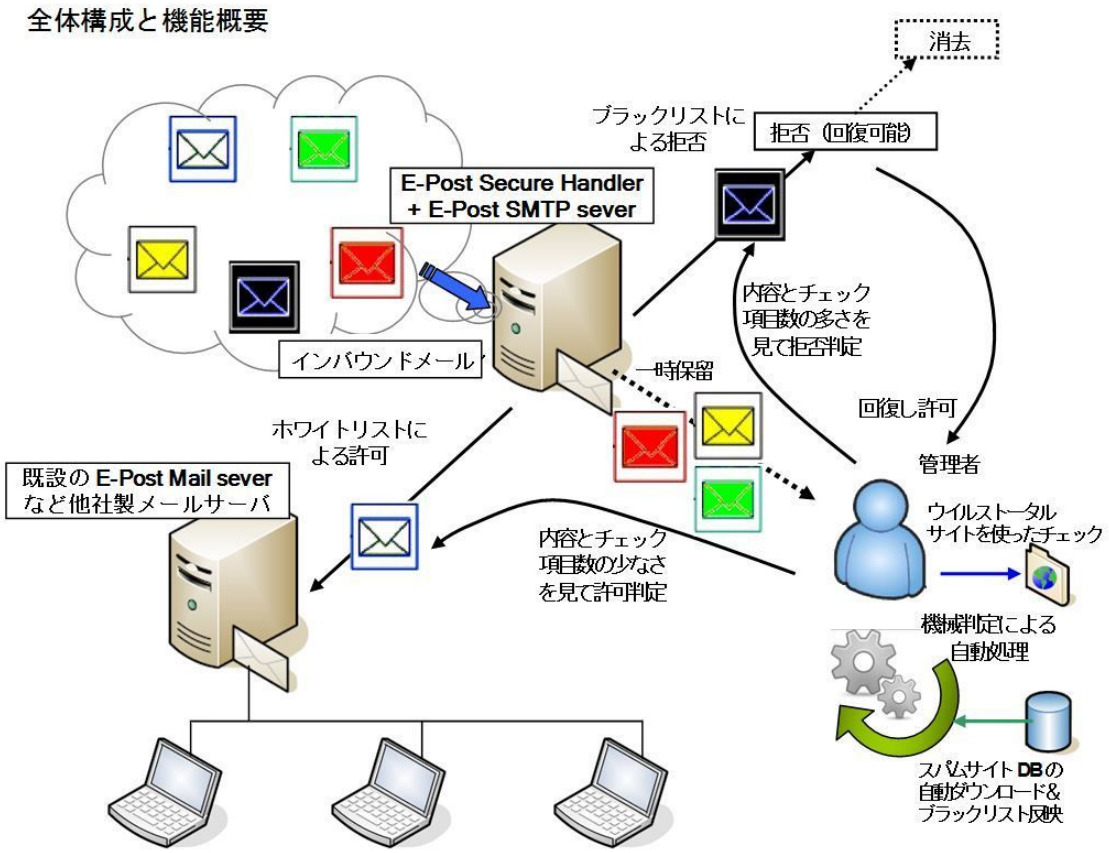
〇管理者がいちいち判断して作業する手間を省くため、許可／拒否を自動的に機械判定させるコマンドを用意、定期的繰り返し自動処理が可能。管理者によってブラウザやメーラーでの判断やアプリによる自動判断を行います。

〇スパムサイトや危険サイトの最新データのダウンロード機能が装備、拒否リンク一覧テーブルによりスパムサイトのリンク情報をチェック、拒否させることが可能。

〇SMTP ゲートウェイとなる E-Post SMTP Server を標準装備、SMTP Server なしモデルも用意。

〇64bit ネイティブ対応の(x64)版を標準、旧環境保持のため 32bit 版も用意。

【システム構成例】



【E-Post Secure Handler (x64) / E-Post Secure Handler 仕様】

●メール保留条件

（ハンドリングルール）

・エンベロープの受信先（ドメイン・アカウント）

・エンベロープの送信元（ドメイン・アカウント）

・メールヘッダの受信先（ドメイン・アカウント）

・題名でのキーワード

・リンク情報（本文掲載の URL）

※いずれも複数指定（ワイルドカード指定）可

●判定方法

・保留メール通知からのメールによる許可・拒否判定操作

・ブラウザから保留メール閲覧による許可・拒否判定操作 (*1)

・アプリによる許可・拒否自動判定 (*2) (*3)

●強制拒否（ブラックリスト）

・送信元エンベロープの登録・削除・閲覧（システム・ブラウザ）

・題名の登録・削除・閲覧（システム・ブラウザ）

・リンク情報（本文掲載の URL）の登録・削除・閲覧（システム・ブラウザ）(*4)

※いずれも複数指定（ワイルドカード指定）可

●強制許可候補確認

・アプリにより許可判定された送信元エンベロープ・題名を直接リスト登録せず目視による操作で最終判定

●強制許可（ホワイトリスト）

・送信元エンベロープの登録・削除・閲覧（システム・ブラウザ）

・題名の登録・削除・閲覧（システム・ブラウザ）

・リンク情報（本文掲載の URL）の登録・削除・閲覧（システム・ブラウザ）

※いずれも複数指定（ワイルドカード指定）可

●メンテナンス

・判定待ちリストの取得機能（承認者）

・履歴の取得・履歴の削除（管理者のみ）

・許可・拒否の結果履歴ログ（システム）

●拒否メール判定回復機能

・判定ミス等で一旦拒否されたメールを許可メールとして回復（ブラウザ）

(*1) ブラウザによる保留メール閲覧による許可・拒否判定を行うには、Windows Server に IIS を機能追加し、なおかつ CGI が動作する設定にする必要があります。またブラウザによる閲覧時には、23 個のチェック項目によって不審メールと判断されるアドバイス情報が表示されます。不審な添付ファイルがある場合、VirusTotal(ウイルストータル)サイトでのウイルス・マルウェア検査を行うよう促します。

(*2) 定期的に自動判定を行う場合は、自動実行するコマンドを呼び出すバッチファイルが用意されていますので、そのバッチファイルを OS で用意されているタスクスケジューラへ登録することが必要です。アプリによる許可・拒否自動判定を行うコマンドは次年度更新継続が前提です。

(*3) 自動判定実行時には、弊社独自に用意したスパムリンクデータベースが運用マシン上にダウンロードされます。利用には 100MB 程度の空き領域が別途必要です。データベースダウンロードは次年度更新継続が前提です。

(*4) 自動判定実行時にダウンロードされたスパムリンクデータベースは、拒否リンク一覧テーブル(リンク情報のブラックリスト)に自動的に反映され、スパムメールや危険なメールを拒否する判定目的に利用されます。

【E-Post Mail Server の主な特長】

- 純国産の Windows によるソフトなので導入が容易で、簡単操作。
- 仮想 OS(VMWare、Hyper-V)導入実績多数。
- Windows Server2012 R2 対応。
- 簡易メールアーカイブ機能付き(ジャーナル機能)なので、メール消失時も復旧が容易。
- 低価格かつ、高機能、高性能の強力配送エンジン 10 万通/時間。
- ActiveDirectory 連携可能。
- LGWAN 対応オプションを用意。
- WEB によるリモート管理ツール付き。
- ログ取得用ログアナライザ付き。

詳細は、WEBページ参照ください。http://www.e-postinc.jp/Secure_Handler.html

【会社概要】

- 社名:　株式会社イー・ポスト
- 住所:　東京都新宿区高田馬場 1-33-14　サンフラワービル　〒169-0075

TEL:03-5272-5386　FAX:03-5286-2610

- 設立:2000年7月19日
- 資本金:1000万円
- 代表者:今西和也
- 業務内容:

・コンピュータソフトウェアの開発、販売

・コンピュータネットワークの企画、開発、設計及びコンサルティング

・デジタル情報技術の開発

・各前号に附帯する一切の事業

記事掲載時のお問合せ及び、弊社製品に関する情報や質問は、下記へお願いします。

株式会社イー・ポスト　担当:木下

東京都新宿区高田馬場 1-33-14　サンフラワービル　〒169-0075

TEL:03-5272-5386　FAX:03-5286-2610

E-mail:　info@e-postinc.jp　　ホームページ:　http://www.e-postinc.jp/